


新型コロナウイルス感染防止のため、本誌掲載のイベント・講座などは、変更・中止する場合があります。


もくじ

えび人 vol.37	02	私と海老名 その1	09
今号の表紙	03	市民の広場	11
HUGHUG子育て	04	ホール・ギャラリー	12
2月16日～3月15日は		相談	13
確定申告期間です	06	図書館	14

「広報えびな」の共通マークとルール

日日時・日にち 期期間 間時間 場場所 対対象 定定員
 内内容 講講師 費費用 持持ち物 他その他 任任期
 条条件 主主催 Eメール ホームページ 問問い合わせ
 申申し込み 予予約制 祝祝日を除く 休休み

 高齢者対象の教室など

 市制施行50周年記念事業

市外局番…省略している場合はすべて「046」です
 市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492勝瀬
 175-1海老名市〇〇〇課行」と記入してください
 市役所開庁時間…省略している場合は原則「月～金8時30分～17時15分」

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。ご協力ありがとうございました。

題字

えびな



海老名のいちごが大好きです。
 社家小学校 白比野菜月さん(10歳)

写真

タイトル：特別ライティング
 撮影場所：あゆみ橋付近
 撮影者：国分北在住
 池田健一さん



編集雑記

新年、目標を立てたいところではあるものの、感染症が流行しだしてからは少し先のことさえも予測がつかない日々です。広報誌の企画や作成は数カ月前から始まるので難儀ではありますが、ことしは市制施行50周年イヤー。皆さんと盛り上がっていきける明るい誌面もお届けできたらと思っています。(あ)



子どもたちに季節感ある“ふるさと”を

子どもたちの笑顔見たさに四季折々の行事を始めて早10年という内村さん。「夏休みにはラジオ体操、年末には餅つき、ひな祭りは共用棟にひな壇が飾られ、端午の節句には中庭にこいのぼりが何十匹も泳ぎます。ここは子どもたちのふるさと。季節感ある思い出を残してあげたい」と目を細めて話します。親しみやすい人柄は子どもたちを引き寄せ、ニックネームで呼ばれることも。「仲良くなつて、ウッチーって。すごくうれしいですよ。最近は大受験の話聞かせてくれた子もいました」と我が子のように成長を喜びます。

「人とつながることは私の活力。人付き合いを控えて気楽に暮らすつもりでマンションに入居したけど、もくろみは外れてしまいました」とはにかみながらも、「コロナで中断してしまったイベントは必ず復活させたい」と力強く話します。住民と子どもたちのために、自分らしく元気に活動が続けています。



中庭の池を囲んでラジオ体操

今月のえび人

うちむらあきかず
 内村彰和さん
 (国分南在住・75歳)

元ルネ・エアズビル管理組合
 理事長。杉本小学校で「あそびっ子クラブ」のパートナー
 としても活躍中。畑仕事と孫
 とのゴルフで健康づくり。